

# 沖縄県医師国民健康保険組合 設立 50 周年記念式典・祝賀会



常任理事 照屋 勉



## 沖縄県医師国民健康保険組合 設立 50 周年記念式典 12 時 3 階「龍宮」

1. 開 会  
沖縄県医師国民健康保険組合副理事長 平安 明
2. 挨拶  
沖縄県医師国民健康保険組合理事長 田名 毅
3. 来賓祝辞  
沖縄県知事 玉城康裕  
沖縄県国民健康保険団体連合会理事長 石嶺傳實
4. 感謝状贈呈  
在籍 50 年組員  
歴代理事長  
勤続 10 年以上役員  
勤続 20 年以上組合会議員
5. 閉 会  
沖縄県医師国民健康保険組合常務理事 照屋 勉

## 沖縄県医師国民健康保険組合 設立 50 周年記念祝賀会 13 時 3 階「天妃」

1. 開 会
2. 挨拶  
沖縄県医師国民健康保険組合理事長 田名 毅
3. 乾 杯  
沖縄県医師国民健康保険組合会議長 山城千秋
4. 祝 宴
5. 閉 会

去る 10 月 20 日（日）、ロワジュールホテル那覇において、沖縄県医師国民健康保険組合設立 50 周年記念式典・祝賀会が開催され、ご来賓の池田竹州沖縄県副知事、石嶺傳實沖縄県国民健康保険団体連合会理事長はじめ医師組合員、関係者にご参加いただき、盛会裡に終了した。

当日は、本組合の運営に多大な貢献をされた方々に感謝状の贈呈があり、在籍 50 年組員 3 名、歴代理事長 3 名、勤続 10 年以上役員 9 名、勤続 20 年以上組合会議員 8 名の先生方が受賞された。

始めに平安明副理事長より開会の辞が述べられ、その後、田名毅理事長が挨拶に立たれ、次のとおり述べられた。

**挨拶 沖縄県医師国民健康保険組合  
理事長 田名 毅**

本日ここに、玉城デニー沖縄県知事のご名代、池田竹州副知事、石嶺傳實沖縄県国民健康保険

団体連合会理事長をはじめご来賓の方々、また、組合員の先生方にご列席をいただき、沖縄県医師国民健康保険組合設立 50 周年記念式典を挙行できますことは、この上ない喜びであり、衷心より厚く御礼申し上げます。

沖縄県医師国民健康保険組合は、医師・従業員及びそのご家族の相互扶助、健康増進を目指し、かつ、医師会の特殊性に立脚した独自の国保組合として昭和 49 年 10 月に設立されました。

爾来 50 年間にわたり、常に安定充実した保険給付及び保健事業を行い、被保険者の医療福祉の向上に貢献することができました。これもひとえに、沖縄県行政当局ならびに沖縄県国民健康保険団体連合会、組合員、組合会議員、歴代役員等関係各位の絶大なるご支援、ご協力の賜であり、改めて感謝申し上げる次第であります。

本組合は、設立当初より医療給付に重点を置き、他の国保組合より保険料は低額で、給付割合は長年 10 割を維持しておりました。しかし、時代の趨勢に伴い、厚生省（現厚生労働省）の指導と補助金の削減等から、給付割合は、平成 7 年に 9 割、平成 14 年に 8 割、平成 18 年には 7 割へ変更となり現在に至っています。このような中でも、保険料は現時点において 47 都道府県医師国保組合の中で一番低額の設定となっており、また、保健事業として実施している人間ドック等は他県より高額な助成を続けております。

しかしながら、昨今、医師国民健康保険組合を取り巻く環境は厳しい状況にあります。国庫補助の大幅削減や高額薬剤の保険適用並びに医療技術の進歩による高額医療費の増加、被保険者数の減少等問題は山積しております。

このように財政状況が逼迫する懸念事項が増えていく中で、全国医師国民健康保険組合連合会や各ブロックでは、一つの解決策として、統合・合併等の組織再編成について検討を始めています。昨年、沖縄県が担当した九州地区医師国民健康保険組合連合会においては、九州各県医師国保組合の「統合・合併シミュレーション」

を実施いたしました。

本組合の状況といたしましては、令和 4 年度決算において、九州各県の中で組合員一人当たりの財産保有額はトップで、現時点で財政的には問題ありません。しかし、被保険者数の減少が顕著であることや、小規模組合であるがゆえにスケールメリットが小さく、また、高額医療費事案が発生すると一気に財政難に陥る可能性もあると考えております。

このように、今、医師国保組合は変革期を迎えております。沖縄県医師国民健康保険組合は、設立 50 周年を新たな出発点として、役職員が一丸となって健全かつ安定した組合運営を持続すべく、あらゆる努力を惜しまず保険者としての責任を果たす所存であります。

何卒、組合員をはじめ関係者の皆様方には、今後とも沖縄県医師国民健康保険組合にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

引き続き、玉城デニー知事のご名代である池田竹州副知事、沖縄県国民健康保険団体連合会の石嶺傳實理事長より、次のとおりご祝辞が述べられた。

**知事祝辞 沖縄県知事 玉城 デニー  
(代読：副知事 池田 竹州)**

ハイサイ グスーヨー チューウガナビラ。皆様、こんにちは。

この度、沖縄県医師国民健康保険組合が設立 50 周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

また、安里哲好前理事長をはじめ、これまでの長年の御功績により、感謝状を授与されます皆様には、心よりお祝いを申し上げますとともに、今後ますますの御活躍を期待申し上げます。

さて、沖縄県医師国民健康保険組合におかれましては、沖縄の本土復帰に伴い、国内最後の国民健康保険組合として、昭和 49 年 10 月、沖縄県医師会を母体として設立されました。以来、国民健康保険事業の適切かつ円滑な運営に

御尽力され、組合員の健康の保持・増進や生活の安定に大きく貢献されてきたところであり、

これもひとえに、歴代理事長をはじめ、職員や関係者の皆様の並々ならぬ御尽力の賜物であり、深く敬意を表します。

国民健康保険制度につきましては、国民皆保険の最後の砦として、県民の命と健康を守り、必要な医療を確保する上で重要な役割を果たしてきました。

一方で、高齢化の進展、医療技術の高度化に伴う医療費の増加や、被用者保険の適用拡大及び後期高齢者医療制度への移行者の増加に伴う被保険者の減少などの課題を抱えています。

沖縄県としましては、本県国民健康保険の安定的な運営、負担の公平化及び医療費の適正化を目指して各種施策を積極的に推進し、本県の国民健康保険が抱える諸課題の解決に向けて取り組んでまいります。

沖縄県医師国民健康保険組合におかれましては、医師をはじめとする組合員の健康増進を図ることで、本県の医療提供体制の安定的な運営に貢献しており、県民医療における重要な役割を担っているという誇りと自信を持って、今後とも田名毅理事長を先頭に業務に邁進されることを期待しております。

結びに、沖縄県医師国民健康保険組合の益々の御発展と、役職員及び組合員の皆様の御健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

イッペー ニフェー デービタン。ありがとうございました。

**祝 辞 沖縄県国民健康保険団体連合会  
理事長 石嶺 傳實**

沖縄県医師国民健康保険組合の設立 50 周年、誠におめでとうございます。関係者の皆様に心よりお祝いを申し上げます。

また、貴組合におかれましては、地域の医療提供者として責任を果たしつつ、常に最新の医療技術と知識を地域の患者に提供されていることに深く敬意を表します。

その献身的な姿勢は、沖縄県民にとって何よりも安心と信頼の源であります。

一方で、保険者の立場で考えますと、市町村国保も同様ではございますが、被保険者数の減少や医療の高度化に伴う医療費の増加等により、大変厳しい状況にあるのではないのでしょうか。

このような中、毎年開催される国保制度改善強化全国大会において、国保組合の保険者機能が発揮できるように、特別調整補助金の確保とともに、制度改正による低率補助見直しの影響を受ける国保組合への激変緩和措置等、国保組合の安定的な運営を確保するよう決議し、関係団体とともに国へ要請しているところであります。

この 50 年という長い年月の中で、様々な課題に対し、組合員をはじめ関係者の皆様が一丸となって安定的な運営を確保すべくご尽力され、その成果が今日の 50 周年を迎えられたことに繋がったものと存じます。

社会保障を取り巻く環境は厳しさを増しています。しかしながら、国民皆保険制度は地域住民の命と健康を守る最後の砦であります。

本日、この記念すべき節目にあたり、これまでの成果を振り返り、次の 50 年も沖縄県国民健康保険組合のますますのご発展と、ここにお集まりの皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます、祝辞といたします。

引き続き、田名 毅理事長から受賞者全員(出席者のみ)に、感謝状の授与が行われた。

**在籍 50 年の組合員**

普天間 稔	
宜保 好彦	
中村 義清	中村内科クリニック

**歴代理事長**

宜保 好彦	
比嘉 国郎	友愛医療センター
安里 哲好	ハートライフ病院

勤続 10 年以上の役員

萩原 啓介	中央皮フ科
稲田 隆司	H&B クリニック沖縄
照屋 勉	てるや整形外科
中村 義清	中村内科クリニック
玉城 信光	那覇西クリニック まかび
糸数 健	糸数病院
友寄 英毅	クリニック絆
与那嶺 毅	
田名 毅	首里城下町クリニック第一

勤続 20 年以上の組合会議員 (8 名)

友利 博朗	八重洲クリニック
山内 義正	
国吉 勲	
仲本 昌一	仲本内科・小児科
屋宜 晃	やぎ SUN クリニック
喜屋武 郁夫	喜屋武内科クリニック
高良 和代	きんクリニック
山城 千秋	山城整形外科眼科医院

その後、祝賀会に移り、幕開けとして玉城流知念範紺琉舞道場による琉球舞踊が披露され、山城組合会議長より歴代の先生方、関係者への感謝の意が述べられるとともに乾杯のご発声があり、祝宴が和やかに行われた。

印象記

「医師国保 50 周年！」

常任理事 照屋 勉

2024 年 10 月 20 日 (日) PM12:00 より、ロワジールホテル那覇 (龍宮・天妃) において、沖縄県医師国民健康保険組合・設立 50 周年記念の「式典・祝賀会」が盛大に執り行われました。「式典 (龍宮)」は、平安明副理事長の開会宣言の後、田名毅理事長挨拶、来賓祝辞、感謝状贈呈、閉会まで恙なく進行いたしました。会場を隣の「天妃」に移し、総勢 73 名のご出席を頂き素晴らしい祝宴が繰り広げられました。設立 50 周年ということで、歴代の理事長を確認いたしますと…。初代～5 代＝大浜方栄先生、6 代～8 代＝宜保好彦先生、9 代～15 代＝比嘉国郎先生、16 代～17 代＝稲富洋明先生、18 代～25 代＝宮城信雄先生、26 代～27 代＝安里哲好先生、そして 28 代＝田名毅先生…。設立 50 周年の歴史を感じることができます！

今後の「医師国保組合」に関しましては、高額医療費・高額薬剤費・助成金削減・組合員の減少などかなり厳しい状況が続いております。先日、九州地区医師国保組合連合会：令和 6 年度第 1 回将来問題検討委員会が福岡で開催されました。九州ブロックの「統合・合併 (段階的統合を含む)」に関する検討・意見交換が行われました。まだまだ、紆余曲折があるものと思われませんが、この難局を何とか乗り切っていかなければならないと、強く感じているところです。今後とも、適正療養・組合員の確保等、宜しくご配慮の上ご協力の程切にお願い申し上げます。